

2020年第1回日本ゴルフサミット会議議事要約

開催日時：2020年1月22日（水）9時30分～10時45分

開催場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京「プリズム」

出席者：竹田 恆正（議長）、永田 圭司（JGA）、手塚 寛（NGK）、池田 育嗣（JPGS）、横山 雅也（JGRA）
アレックスM. ボーズマン（JGGA）、石原 俊爾（GTPA）、倉本 昌弘（PGA）、青木 功（JGTO）、
小林 浩美（LPGA）、津々木 秀司（JGMD）、今和泉 久生（JGIA）、片山 哲郎（JGJA）、
川田 太三（JSGCA）、田村 和男（支配人会連合会）、高橋 正孝（TOJ）（敬称略・団体名略称）

議 事

竹田議長より、東京五輪成功に向けてゴルフ界が一致団結して臨むこと必要がある旨の挨拶があった。

（1）「2020年度日本ゴルフサミット会議活動方針」の確認と一部議案審議

【日本ゴルフサミット会議～2020年度活動方針～】

1. ゴルフの活性化をはかる

ゴルフ普及の阻害要因である「プレー時間が長い」を払拭するための「短時間プレー」の普及、
「技能・年齢に適合したプレー距離」に関する啓発活動を推進する。

（1）「統一テーマによるゴルフ活性化への取組み（4課題）」の具体化と展開

①ゴルフ振興の中期目標：20歳代後半から30歳代前半のゴルフ実施率を10%に引き上げる。

②選手強化

③女性ゴルファーの創造（開拓）

各種データによるターゲット年齢層は40歳代であるため、それを意識しつつも幅広い年齢層に対して「ゴルフ参画」を呼び掛ける施策を展開する。

*2019年度第3回会議にPGAより提案された「女性ゴルファーの創造に関する施策」について、本会議の共同施策として認証し、参画を希望する団体によるタスクフォースを編成し、様々な意見を加味しながら施策を完成させる。（1月22日時点での参画団体は、JGA・GTPA・JGJA・JGTO・支配人会・JGRA・NGK・JGGA・PGA・JPGSの10団体。）

*「ピンクリボン月間」（10月）への参画呼び掛け等について

「ピンクリボン運動」の主旨、並びに、本運動を取り上げた目的「もっと女性がゴルフを楽しめる環境を作る」等をテーマとしたチラシを作成し、団体の所属会員や関連産業に参加を呼びかける。チラシ等の具体的内容は、4月を目途に「運営会議」で審議。

④. イメージアップ

（2）団体の活動目的に即した「ゴルフ活性化活動」

2. ゴルフ界も廃プラ削減に取り組もう！

「啓発用ポスター」を承認し、全ゴルフ場に配布する。また、必要に応じて各団体に配布する。本運動の推進委より影響を受ける関連産業への周知も図りつつ、丁寧に進めていくこととした。また、ゴルフ界の廃プラ削減への取組みを広くアピールするために「ゴルフ界環境サミット」（仮称）を企画して東京五輪前に開催する。

3. ゴルフ場利用税廃止を求める運動

2019年度の活動結果を報告。2020年度活動方針は、「ゴルフ場利用税廃止運動推進本部」を中心に参画団体が緊密な連携のもとに関係省庁や地方自治体と協議する方向性を模索する。

4. 国家公務員倫理規程における「ゴルフ」の削除

5. 暴力団等反社会勢力の排除

（2）報告事項

*「統一テーマによるゴルフ活性化への取組み」に関する経過報告

①「大学のゴルフ授業」充実に向けた産学連携協力の推進（過去4ヶ年の累計実績等）

*JGGA：「ゴルフクラブ寄贈事業」について、延べ105校に3237本、156セット寄贈。

*NGK：「Gちゃれ」（デビュープログラム）参加者数は、延べ1,458名。

*PGA：教員研修会5回・プロゴルファーによる授業実施9回

②「ゴルフマジ」（2014年～2019年）の実績報告 延べアクション数 188,800名。

*選手強化策についての中間報告（サミット会議15団体支援）

JGA：強化プログラムの実施により、男女ともに若い世代の活躍が顕著である。

*JGGA：「第54回ジャパンゴルフフェア2020」の開催告知

（3）その他

1. 雇用人材不足への対応、風水害対策等について、経過報告等があった。

2. 「2021年ゴルフ新年会」：2021年1月18日（月）ANA インターコンチネンタルホテル東京

以上